

令和4年度 第2回山梨県教員育成協議会 次第

日 時 令和4年9月12日（月）午後3時～

場 所 山梨県防災新館4F 403会議室

1 開 会

2 教育次長あいさつ

3 報 告

- ・第1回教員育成協議会の概要について

4 議 事

- (1) やまなし教員育成指標の改定案について

- (2) やまなし教育みらいフォーラム「山梨県で学校の先生になろう」について

- (3) その他

- ・今後のスケジュールについて

第3回協議会（10月13日（木）10～12時：予定）

指標改定の最終案の提示

校長、養護教諭、栄養教諭の指標改定案の提示

センター研修の計画について

5 連 絡

6 閉 会

【資 料】

1. 第1回教員育成協議会 会議録
2. 現行のやまなし教員育成指標一覧表
3. やまなし教員育成指標 改定案
4. 令和4年度 山梨県学校教育指導重点
5. 改正教育公務員特例法に基づく公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針の改正等について

(R4.8.31 文部科学省通知より抜粋)

やまなし教員育成指標の改定の考え方

第1回教員育成協議会で確認された「育成指標改定の方向性」に基づき、次の事項を反映及び参照。

I 国の指針等の反映

- ・「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針（改正案）」（文部科学省・令和4年7月パブリックコメント）
- ・『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」（中央教育審議会答申・令和3年1月）

など、国の指針等における新たな考え方や表現を反映

II 県の方針等の反映

- ・令和4年度山梨県学校教育指導重点
- ・令和4年度山梨県公立学校教員選考検査募集要項

など、県の方針や資料等における考え方や表現を反映

III 他都道府県の教員育成指標を参照

- ・他都道府県の教員育成指標における考え方や表現を参照

改定案の文言の表し方について

- ①現行の育成指標の書きぶりを踏襲した部分は、「黒字」
- ②改定につき、新たに追記あるいは修正した部分は、「赤字」

【再掲】教員等育成指標の改定について

1 改定の趣旨

現指標は、平成29年11月の策定後、現山梨教育大綱（県教育振興基本計画）の策定にともない、資質能力の項目に「人権教育」を加える一部改訂がされた（令和2年3月）。その後、現行の学習指導要領が始まるとともに、GIGAスクール構想により一人一台端末が導入され、ポストコロナを見据えて令和3年度に県教育振興基本計画が見直された。また、令和3年1月に中央教育審議会による『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」の答申が出され、令和4年7月には教員免許更新制の発展的解消にともない教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部が改正される。

このような教育事情の変化に対応するため、教員等育成指標の検証を行い見直しを行う。

2 育成指標の課題

- ① 現山梨教育大綱（県教育振興基本計画）に合わせて、令和2年3月に一部改定を行っているが、「第1章 2 策定の背景」「第2章 本県の現状と課題」の書きぶりが古い。
- ② 現行の学習指導要領、GIGAスクール構想による一人一台端末の導入、令和3年度に見直された県教育振興基本計画、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」の答申、教員免許更新制の発展的解消にともなう新しい研修制度について、反映しなければならない。
- ③ 資質能力の項目は今のままでよいのか
 - ・学習指導は内容が少なくないか。学習指導以外の項目も、このままでよいのか。
 - ・自己観察書の大項目「教科指導」「教科外指導」「学校運営への参画」と関連性を持たせ、目標を立てやすくする必要はないか。
 - ・新たな教育課題に「情報教育の推進」があるが、一人一台端末が導入され、授業で当たり前前に使い始めている状況と違和感はないか。
 - ・「いじめ問題」に関する内容はこのままでよいか。
- ④ 栄養教諭、養護教諭の指標について
 - ・「教職としての専門性」と「養護教諭としての専門性」「栄養教諭との専門性」のバランスはこのままでよいか
 - ・異物混入、感染症 等に関する内容の追加が必要ではないか。

3 育成指標改定の方向性

(1) 目次及び内容の精選について

①「第1章 2 策定の背景」と「第2章 本県教育の現状と課題」については削除する。

理由)「山梨県教育振興基本計画」の「第2章 教育を取り巻く社会の状況」「第3章 山梨県教育のこれまでの取組」において、同じような内容を掲載しており対応できる。振興基本計画は、5年ごとに改定が行われ、内容が更新される。

②「第3章 これからの山梨の教育に求める資質能力」は、「1 基本的な考え方」と「2 教員の求める資質能力」に分かれているが、ひとつにまとめる。

理由)他県の多くの育成指標は、一覧表をメインとし、シンプルにまとめられている。同じような建て付けにする。改定後、育成指標活用ガイドの作成について検討も進める。

(2) 項目について

①項目の見直しを行う。

【現 行】

「教職としての素養」

社会人として (法令遵守、自立、協働・創造)

教員として (使命感・責任感、教育的愛情、意欲、研究能力)

「教職としての専門性」

学習指導

生徒指導 (学級経営、児童生徒理解、道徳性の涵養)

キャリア教育

特別支援教育

学校運営 (教育課程、連携・協働、研修、学校安全)

新たな教育課題 (グローバル化への対応、情報教育の推進、人権教育)

↓

【見直し案】

「教職としての素養」

・人権意識について加える

「教職としての専門性」

学習指導 (主体的・対話的で深い学び、教育課程 等)

生徒指導 (学級経営、児童生徒理解、道徳性の涵養、

キャリア教育、特別支援教育、人権教育 等)

学校運営 (連携・協働、研修、学校安全 等)

特別な配慮や支援を必要とする子供への対応

ICTや情報・教育データの利活用 (ICT活用能力、情報モラル 等)

理由) 教員の資質向上に関する指針改正案に基づき、項目を整理するとともに必要な項目を加える。

②各ステージにおける各項目の内容を、必要に応じて見直す。

理由) 学習指導要領、教育振興基本計画、中教審答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」の内容を反映させる必要がある。

(3) ステージ (年数、年齢) について

○現行と同じく、3つのステージとする。

「第1ステージ: 採用～5年目まで」 → 基礎形成期 (若手): 1～6年目

「第2ステージ: 6年目～40代半ばまで」 → 発展向上期 (中堅): 7～20年目

「第3ステージ: 40代半ば～60歳まで」 → 充実深化期 (ベテラン): 21年目～

理由) 初任者研修、五年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修と対応させるため。

(4) 養護教諭、栄養教諭の指標について

○それぞれの専門性において、必要な項目、内容を追記する。また、「教職としての専門性」と「養護教諭、栄養教諭としての専門性」のバランスを検証する。

理由) ポストコロナと教育事情の変化を受けて、必要な事項を反映させる。

(5) 校長の指標について

○マネジメント力「教職員の管理」の項目に、「研修」について加える。

理由) 教員免許更新制の発展的解消に伴い、「新たな教師の姿」を実現するために講ずべき方策を見据える必要がある。

(6) 現行の育成指標と同様に、一覧表はワンペーパーになるよう項目や内容文を精選し、教員が使う際に見やすく、使いやすいようにする。

【参考】教員選考検査実施要項にある「本県が求める教師像」

○豊かな人間性と幅広い視野を持った教師

○教育に対する情熱と使命感がある教師

○幅広い教養と専門的な知識・技能を持った教師

○生涯にわたって主体的に学び続ける教師

やまなし教育みらいフォーラム「山梨県で学校の先生になろう」(案)

実施日：12月18日(日) 14:00～16:30

会場：総合教育センター 大研修室

形態：WEB会議システムZoomによるオンライン配信

対象：大学生(県内・県外)、高校生(県内)

内容：〈第1部〉パネルディスカッション

「(仮)山梨で学校の先生をする『魅力』について」

〈第2部〉山梨大学教育学部と連携したプログラムを調整中

【第2部案①】(60分間)

- ・セミナー 「学校の先生という職業の魅力とは(仮)」 (25分間)

講師：山梨大学 准教授 茅野 政徳先生

- ・グループ討議 (25分間)

参加者を大きくA：高校生1・2年生 B：高校3年生 C：大学1・2年生
D：大学3・4年生というカテゴリ別に、テーマを設定して討議する。

それぞれ最大10名程度のグループに分け、センター指導主事がファシリテーターとなって進行する。

*カテゴリごとのテーマ(今後、センター内の実行委員会で検討)

- ・まとめ(10分間)

茅野先生に各グループの様子を見ていただき、最後にまとめを行う。

【第2部案②】(60分間)

- ・セミナー 「学校の先生という職業の魅力とは(仮)」 (25分間)

講師：山梨大学 准教授 茅野 政徳先生

- ・分科会 (25分間)

センター指導主事がいくつかのグループに分かれて分科会を開催し、参加者が希望の分科会に参加する。内容は、質疑応答や意見交換など。

*分科会例(今後実行委員会で検討していく)

例①) 校種別分科会

A：小学校 B：中学校 C：高等学校 D：特別支援学校

養護・栄養は各校種に含む。

例②) 問題別分科会

A：先生になるために必要なこと B：進路選択の悩み相談

C：教員養成系大学での4年間Q&A など

- ・まとめ(10分間)

茅野先生に各グループの様子を見ていただき、最後にまとめを行う。

教員等育成指標改定スケジュール案

R4.9

項目\年・月	令和4年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
【協議会／ 運営幹事会】 *教育企画室 センター				○6/28: 第1回 運営幹事会								
				◎7/14: 第1回 協議会								
				○8/26: 第2回 運営幹事会								
				◎9/12: 第2回 協議会								
【改訂検討部会】 *教育企画室 センター				◎事務局打合せ								
				●6/21: 第1回検討部会								
				●7/27: 第2回検討部会								
				●8/23: 第3回検討部会								
【教育委員会会議】 *教育企画室				●教育長レク								
				◎6/22 教育委員会(付議・勉強会)								
				◎教育委員会(勉強会)								
				◎教育委員会(指標改定の報告)								

◎第1回協議会: 指標の検証と課題の洗い出し、指標改定の方向性の確認と協議

◎第2回協議会: 指標改定の原案の提示と協議

◎第3回協議会: 指標改定の最終案の提示、校長・養護教諭・栄養教諭の指標改定案の提示と協議、研修計画の方向性の確認と協議

◎第4回協議会: 必要に応じて開催